

## 伊藤忠商事とシノプス、食品バリューチェーン最適化の実証実験をウオロクで開始 在庫圧縮と納品リードタイム延長で物流課題を解決

株式会社シノプス（本社：大阪府大阪市、代表取締役：南谷 洋志、以下「シノプス」）は、伊藤忠商事株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長COO：石井敬太、以下「伊藤忠商事」）と構築に向け取り組んでいる食品デマンド・チェーン・マネジメント<sup>\*1</sup>の実証実験を、株式会社ウオロク（本社：新潟県新潟市、代表取締役社長：本多伸一、以下「ウオロク」）で開始したことをお知らせします。



株式会社ウオロクの物流センター

### ■背景

シノプスと伊藤忠商事は、食品ロス削減や物流の効率化といった食品バリューチェーンの最適化を実現すべく、2022年1月に「デマンド・チェーン・マネジメント プラットフォーム」構築に向けた業務提携契約書を締結しました。シノプスは1980年代から需要予測・自動発注の分野に着目し、販売実績や在庫情報、天気予報といったさまざまなデータからAIが最適な発注数を算出する需要予測型自動発注サービス「sinopsシリーズ」の開発・提供をしています。sinopsシリーズは、食品スーパーマーケットを中心に小売業106社<sup>\*2</sup>で導入いただいています。こうしたシノプスの小売業のノウハウと、伊藤忠商事の豊富なネットワークを生かし、デマンド側である小売業の需要予測データを卸売業や製造業につなげることでサプライチェーンの最適化を目指すデマンド・チェーン・マネジメントプラットフォームの構築に向け、取り組んでいます。

### ■今回の取り組みについて

新潟県内で食品スーパーマーケットを43店舗運営しているウオロクにて、物流センターの在庫圧縮と特売品

※「sinops」「sinops-CLOUD」は株式会社シノプスの商標登録です

※「ウオロク」はウオロクホールディングスの商標登録です

の物流センターへの納品リードタイム（以下、「納品LT」）を長期化する実証実験を開始しました。ウオロクでは、新潟市内に保有している自社の物流センターの在庫圧縮による稼働効率の向上が求められています。店舗運営に必要なsinopsシリーズをウオロク全店で幅広く導入いただいております。今回はsinopsで算出した店舗の需要予測データを再活用し、物流センターの稼働効率の向上を図ります。

併せて、食品バリューチェーンの最適化を目指し、特売品における納品LTを長期化させる実証実験も行っています。sinopsで特売品の需要予測を14日先まで行い、従来は数日前に確定していた卸売業への特売品の発注を、14日前に確定します。納品LTを長期化することで、卸売業の特売期間中の追加発注の対応に向けた需要予測や在庫調整業務の負荷軽減や、物流センターの過剰在庫や欠品リスクの抑制が期待できます。

データによる机上検証では、sinopsが算出した予測値とPOSデータの販売実績を比較したところ、予測誤差は問題なく実運用できるレベルにあることを確認しています<sup>\*3</sup>。さらにウオロクの発注担当者が起案した発注数とsinopsが算出した発注数の比較では、sinopsで発注した場合の方が特売期間中の卸売業への追加発注を抑制できるというシミュレーション結果も出ています<sup>\*4</sup>。

実証項目：①ウオロクの総合物流センターにおける在庫圧縮

②ウオロクから卸売業への特売品の発注確定日を14日前倒し（納品LT長期化）

実証期間：2023年8～11月（予定）

## ■今後の展開

本実証実験のほか、他の小売業でも同様の実証実験を行い、在庫圧縮率や納品LT長期化における物流改善の効果を現場検証します。トラックドライバーの時間外労働が960時間に規制されることでドライバー不足が懸念される「2024年問題」も来年に迫っているほか、物流センターのキャパシティーひっ迫も喫緊の課題となっています。こうした課題を解決し、最適なバリューチェーンを実現するべく、デマンド・チェーン・マネジメントプラットフォームの構築に向けた動きを加速していきます。

## ■株式会社シノプスについて

株式会社シノプスは、「世界中の無駄を10%削減する」をビジョンに掲げ、需要予測型自動発注サービス「sinops」（シノプス）を開発・販売しているソフトウェアメーカーです。日配食品や惣菜といった賞味期限が短く需要予測がむずかしいとされるカテゴリのシステム化に成功。多くの食品小売企業に採用いただいております。在庫に関わる人、もの、金、時間、情報を最適化するITソリューションを提供し、限りある資源を有効活用することで、広く社会に貢献していきます。東証グロース上場（証券コード：4428）。

「sinops-CLOUD」製品サイト：<https://www.cloud.sinops.jp>

\*1:DCM。需要側（消費者等）から得られる情報を基点として商品開発、生産・供給計画、流通、販売体制などを統合的に編成する情報管理手法。具体的にはPOSデータなどの情報をもとにして、需要予測を行い、生産管理や在庫管理を最適化する。一方、商品の供給側からの情報を基点に行う情報管理手法をサプライ・チェーン・マネジメント（SCM）と呼ぶ

\*2:2023年6月時点

\*3:データ検証期間 2023年4～5月

\*4:データ検証期間 2023年7月

【参考】2022年1月20日配信「[食品バリューチェーンの最適化に向けた伊藤忠商事との業務提携について](#)」

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社シノプス 管理部経営企画課 IR担当

Email：[ir@sinops.jp](mailto:ir@sinops.jp)

お問い合わせフォーム：<https://www.sinops.jp/contacts>

※「sinops」「sinops-CLOUD」は株式会社シノプスの商標登録です

※「ウオロク」はウオロクホールディングスの商標登録です